

# 釧根中小企業経営実態調査研究 2013 年度報告書

## － 結果概要 －

### 1. 域内循環アンケート調査目的

「地域経済活性化に向けた域内循環の取引実態」を明らかにする。いままでの研究で釧路市は都市的な機能が多く他の市町村との経済関係に依存するところも多い。そのことから、釧路市と釧根地域のその他市町村との経済的關係について統計的に検証し、地域の経済成長の可能性と課題について明らかにする。

「釧路市以外の釧路総合振興局管内の自治体」が活性化することは、「釧路市」にとってどのような影響があるのか、考察する。

仮定 1 : 他市町村の活性化 → 釧路市の活性化 に繋がるとすれば、広域な政策、魅力作りのための合意形成の提言

仮定 2 : 他市町村の活性化 → 釧路市の活性化 に繋がっていないとすれば、釧根地域からの「漏出」が、釧路市を疲弊させている可能性が高い（時系列でみれたらなお良い）ため、「漏出」の原因とそこから得られる成果から政策提言を行う。

## 2. アンケート結果概要

### (1) 所在地別分析

#### i) 仕入構造

仕入

単位：%

所在地	釧路管内(1)	根室管内(2)	北海道内(3)	北海道外(本 州)(4)	海外(5)	釧路根室管 内(1+2)	管外(3+4+5)	仕入合計	
釧路管内	釧路市	54.2	1.1	26.9	16.8	0.2	55.3	43.9	99
	釧路町	30.8	5.7	32.3	14.5	16.7	36.5	63.5	100
	白糠町	40.0	0.0	51.7	8.3	0.0	40.0	60.0	100
	厚岸町	67.6	6.1	23.9	2.4	0.0	73.7	26.3	100
	浜中町	68.3	1.3	19.0	11.5	0.0	69.5	30.5	100
	標茶町	61.9	2.5	27.1	2.9	5.6	64.4	35.6	100
	弟子屈町	80.6	13.1	5.0	1.3	0.0	93.8	6.3	100
	鶴居村	70.0	20.0	6.7	3.3	0.0	90.0	10.0	100
	根室管内	根室市	15.3	28.3	38.7	14.3	3.4	43.6	56.4
別海町		27.0	49.4	16.1	6.7	0.8	76.4	23.6	100
中標津町		17.8	25.3	38.5	16.8	1.6	43.1	56.9	100
標津町		6.7	90.0	3.3	0.0	0.0	96.7	3.3	100
羅臼町		60.0	10.0	30.0	0.0	0.0	70.0	30.0	100
総計		43.9	14.4	27.1	12.9	1.3	58.3	41.3	100

釧路根室管内での取引は、全企業の平均で 58.3%

最も低い地域が釧路町（36.5%）、最も高い地域が標津町(96.7%)

最もサンプル数が多かった釧路市で見ても 55.3%となっており、約 45%のものが地域外へ漏出している

ii) 販売構造

販売 単位: %

	所在地	釧路管内(1)	根室管内(2)	北海道内(3)	北海道外(本 州)(4)	海外(5)	釧路根室管 内(1+2)	管外(3+4+5)	販売合計
釧路管内	釧路市	77.5	7.0	11.9	3.6	0.0	84.5	15.5	100
	釧路町	47.5	8.2	38.5	5.8	0.0	55.7	44.3	100
	白糠町	21.7	0.0	30.0	48.3	0.0	21.7	78.3	100
	厚岸町	67.1	2.8	14.7	15.4	0.0	69.9	30.1	100
	浜中町	73.1	4.8	6.6	15.5	0.0	77.9	22.1	100
	標茶町	77.5	2.5	18.8	1.3	0.0	80.0	20.0	100
	弟子屈町	67.5	10.0	10.6	10.9	1.0	77.5	22.5	100
	鶴居村	65.0	1.7	33.3	0.0	0.0	66.7	33.3	100
根室管内	根室市	4.8	77.2	6.0	11.6	0.4	82.1	17.9	100
	別海町	7.5	67.4	20.3	4.5	0.6	74.9	25.4	100
	中標津町	9.4	76.5	7.6	6.2	0.3	85.9	14.1	100
	標津町	6.7	88.3	0.0	5.0	0.0	95.0	5.0	100
	羅臼町	70.0	30.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100
	総計	50.4	30.1	12.8	6.6	0.2	80.5	19.5	100

釧路根室管内での取引は、全企業の平均で 80.5%

白糠町(21.7%)、釧路町(55.7%)が低いほかは、2 / 3 以上を釧路根室管内で販売を行っている構造

地域内の住民、企業に対する販売割合 (84.5%) と比較して、地域内での仕入割合(55.3%) は低く、釧路根室地域の所得(消費)が、企業の取引構造を通じてその多くが、他地域へ「漏出」しているといえる

(2) 産業別

i) 仕入構造

産業	仕入_釧路管内	仕入_根室管内	仕入_北海道内	仕入_北海道外(本州)	仕入_海外	仕入_合計
農業	32.3	54.6	10.8	2.3	0.0	100.0
漁業	62.7	32.3	0.0	5.0	0.0	100.0
鉱業, 採石業, 砂利採取業	50.0	0.0	35.0	15.0	0.0	100.0
建設業	62.6	16.4	16.2	4.7	0.1	100.0
製造業	36.9	16.2	36.1	5.2	5.5	100.0
情報通信業	48.0	3.0	39.5	9.5	0.0	100.0
運輸業, 郵便業	57.4	14.1	12.1	16.3	0.0	100.0
卸売業, 小売業	29.3	6.1	39.7	23.0	2.0	100.0
金融業, 保険業	8.0	0.0	12.0	80.0	0.0	100.0
不動産業, 物品賃貸業	77.5	1.3	4.8	16.5	0.0	100.0
学術研究, 専門・技術サービス業	58.5	13.2	7.4	20.9	0.0	100.0
宿泊業, 飲食サービス業	47.9	17.8	28.3	4.4	1.7	100.0
生活関連サービス業, 娯楽業	41.2	2.0	40.9	14.4	1.5	100.0
教育, 学習支援業	63.3	0.0	16.7	20.0	0.0	100.0
医療, 福祉	46.6	9.5	32.1	10.8	1.0	100.0
複合サービス事業	37.0	23.0	35.0	4.9	0.1	100.0
サービス業(他に分類されないもの)	69.8	12.5	15.0	2.7	0.0	100.0

比較的取引が多い産業として、漁業（95.0%）、鉱業、採石業、砂利採取業（95.0%）、農業（87.9%）、サービス業（83.5%）、建設業（78.5%）

少ない産業として、金融業、保険業（23.3%）、卸売業、小売業（33.9%）、情報通信業（34.0%）、生活関連サービス業、娯楽業（43.2%）、製造業（47.8%）

おおよそ一次産業の管内の取引比率が高く、3次産業及び2次産業の取引比率は低い

## 販売

単位：%

産業分類大	釧路管内(1)	根室管内(2)	北海道内(3)	北海道外(本 州)(4)	海外(5)	釧路根室管 内(1+2)	管外(3+4+5)	販売合計
農業	14.9	50.1	28.8	6.2	0.0	65.0	35.0	100
漁業	31.7	10.7	15.7	42.0	0.0	42.3	57.7	100
鉱業、採石業、砂利採取業	97.5	0.0	2.5	0.0	0.0	97.5	2.5	100
建設業	52.1	35.9	10.9	1.3	0.0	88.0	12.2	100
製造業	29.7	34.2	14.0	21.1	0.9	64.0	36.0	100
情報通信業	35.3	8.8	48.0	7.8	0.0	44.2	55.8	100
運輸業、郵便業	62.1	11.3	20.6	6.0	0.0	73.4	26.6	100
卸売業、小売業	56.8	29.1	8.6	5.4	0.1	85.9	14.1	100
金融業、保険業	26.4	51.6	20.1	2.0	0.0	78.0	22.1	100
不動産業、物品賃貸業	89.0	3.3	5.0	2.8	0.0	92.3	7.8	100
学術研究、専門・技術サービス業	56.2	24.9	9.8	9.1	0.0	81.1	18.9	100
宿泊業、飲食サービス業	41.1	19.6	21.6	16.3	1.5	60.7	39.3	100
生活関連サービス業、娯楽業	74.0	23.0	2.5	0.5	0.0	97.0	3.0	100
教育、学習支援業	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100
医療、福祉	49.6	39.7	10.5	0.1	0.0	89.4	10.6	100
複合サービス事業	53.3	15.2	21.8	9.7	0.0	68.5	31.5	100
サービス業(他に分類されないもの)	58.2	28.4	11.6	1.8	0.0	86.6	13.4	100
総計	50.4	30.1	12.8	6.6	0.2	80.5	19.5	100

比較的取引が多い産業として、教育、学習支援業（100.0%）、鉱業、採石業、砂利採取業（97.5%）、生活関連サービス業、娯楽業（97.0%）、不動産業、物品賃貸業（92.3%）、医療、福祉（89.4%）

少ない産業として、漁業（42.3%）、情報通信業（44.2%）、宿泊業、飲食サービス業（60.7%）、製造業（64.0%）、農業（65.0%）

(3) 地域別一産業別(クロス)

i) 仕入構造

	釧路管内企業			根室管内企業		
	釧路管内 (1)	根室管内 (2)	小計	釧路管内 (1)	根室管内 (2)	小計
農業	82.5	5.0	87.5	9.0	79.0	88.0
漁業	80.0	20.0	100.0	28.0	57.0	85.0
鉱業, 採石業, 砂利採取業	95.0	0.0	95.0	--	--	0.0
建設業	75.9	2.2	78.1	38.4	40.8	79.2
製造業	56.5	5.0	61.5	10.1	26.6	36.7
情報通信業	48.0	3.0	51.0	0.0	0.0	0.0
運輸業, 郵便業	67.0	0.7	67.7	0.0	95.0	95.0
卸売業, 小売業	32.5	4.3	36.7	16.1	10.5	26.5
金融業, 保険業	13.3	0.0	13.3	3.3	30.0	33.3
不動産業, 物品賃貸業	77.5	1.3	78.8	--	--	0.0
学術研究, 専門・技術サービス業	66.5	0.1	66.6	26.8	62.0	88.8
宿泊業, 飲食サービス業	60.0	0.4	60.4	31.0	42.0	73.0
生活関連サービス業, 娯楽業	50.3	0.0	50.3	5.0	10.0	15.0
教育, 学習支援業	63.3	0.0	63.3	--	--	0.0
医療, 福祉	66.6	0.1	66.7	22.5	23.8	46.3
複合サービス事業	71.3	1.3	72.5	0.0	55.0	55.0
サービス業(他に分類されないもの)	87.7	0.6	88.2	25.8	49.4	75.2
総計	56.9	2.7	59.6	20.2	35.9	56.1

釧路管内にある企業は平均で釧路管内から 56.9%、根室管内から 2.7%仕入

根室管内にある企業は平均で釧路管内から 20.2%、根室管内から 35.9%仕入

農業、漁業はほとんどを当該地域内から仕入。

製造業については、管外からの割合もそれなりに高い。特に根室管内。

生活関連サービス業、娯楽業、医療、福祉、複合サービス事業、卸売、小売業については、  
釧路管内企業の方が 10%ポイントほど両地域内で仕入を行っている割合が高い

→ 根室企業が、管外へ発注しているものを代替できる？

ii) 販売構造

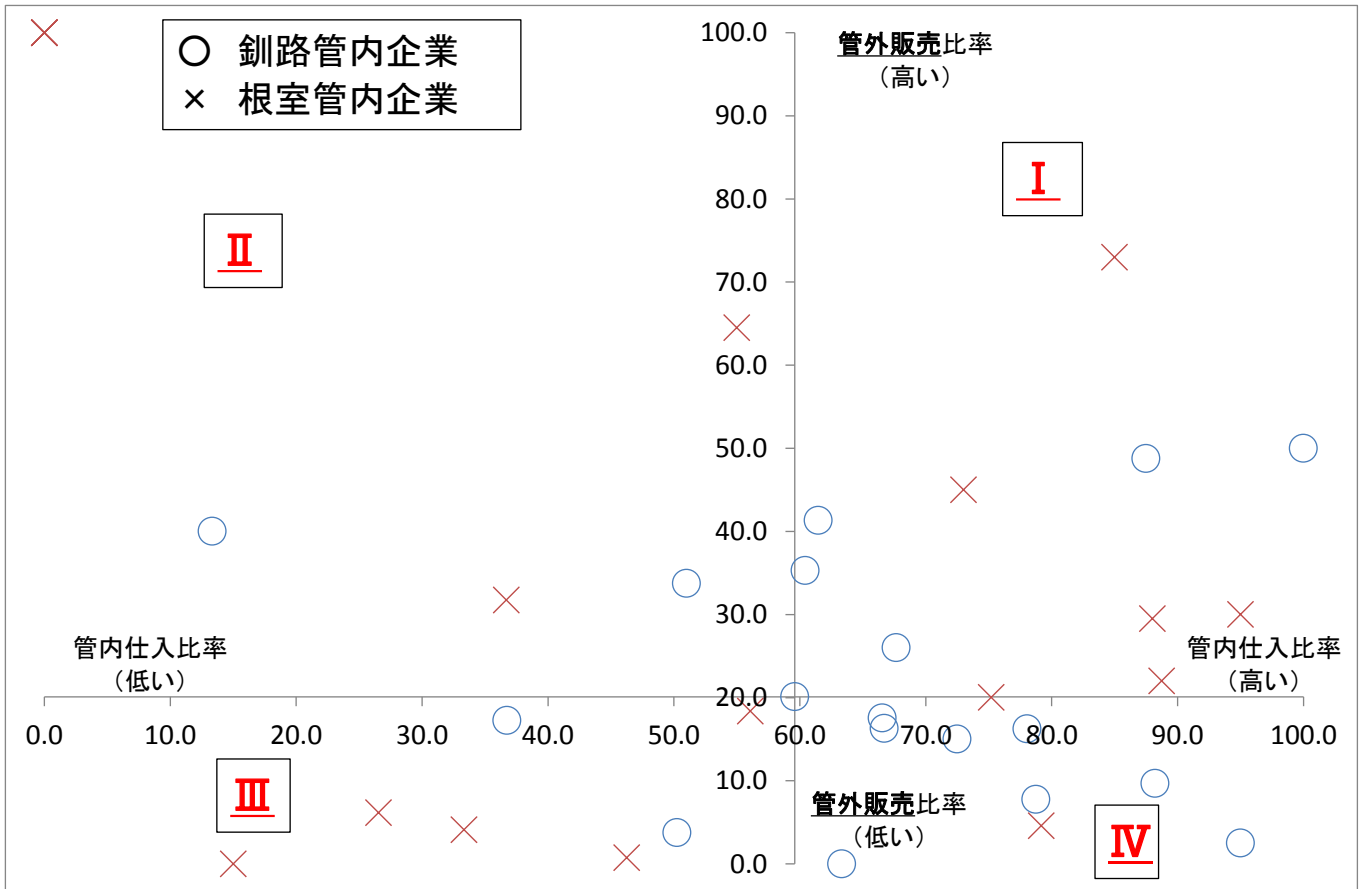
	釧路管内企業			根室管内企業		
	釧路管内 (1)	根室管内 (2)	小計	釧路管内 (1)	根室管内 (2)	小計
農業	51.3	0.0	51.3	0.3	70.2	70.5
漁業	47.5	2.5	50.0	0.0	27.0	27.0
鉱業, 採石業, 砂利採取業	97.5	0.0	97.5	—	—	0.0
建設業	75.6	8.1	83.8	10.2	85.2	95.4
製造業	53.3	5.4	58.7	10.6	57.7	68.3
情報通信業	53.0	13.3	66.3	0.0	0.0	0.0
運輸業, 郵便業	72.5	1.5	74.0	0.0	70.0	70.0
卸売業, 小売業	75.1	7.7	82.8	10.3	83.6	93.8
金融業, 保険業	51.7	8.3	60.0	1.1	94.8	95.9
不動産業, 物品賃貸業	89.0	3.3	92.3	—	—	0.0
学術研究, 専門・技術サービス業	75.6	6.8	82.4	12.5	65.5	78.0
宿泊業, 飲食サービス業	62.6	2.1	64.7	11.0	44.0	55.0
生活関連サービス業, 娯楽業	91.3	5.0	96.3	5.0	95.0	100.0
教育, 学習支援業	100.0	0.0	100.0	—	—	0.0
医療, 福祉	77.9	5.9	83.7	0.3	99.0	99.3
複合サービス事業	80.0	5.0	85.0	0.0	35.5	35.5
サービス業(他に分類されないもの)	86.1	4.2	90.3	8.0	71.9	80.0
総計	73.7	6.2	79.9	8.0	73.7	81.6

釧路管内にある企業は平均で釧路管内へ73.7%、根室管内へ6.2%販売

根室管内にある企業は平均で釧路管内へ8.0%、根室管内へ73.7%販売

釧路管内の企業の内、地域密着型企業と考えられる、教育、学習支援業、生活関連サービス業、娯楽業等は同一管内で販売

iii) 仕入-販売クロス (まとめ)



横軸は管内からの仕入比率を表しており、右に行くほど管内からの仕入が高いことを表す  
縦軸は、管外への販売比率を表しており、上に行くほど管外への販売が高いことを表す



第Ⅰ象限は、管内からの仕入比率が高く、管外への販売比率も高い

「域内循環型基盤産業」・・・「農業」「漁業」「製造業」  
これらの産業の活性化は、他の地域内の産業の活性化を促すことが期待

第Ⅱ象限は、管内仕入比率は低いものの管外販売比率が高い

「非域内循環型基盤産業」・・・「情報通信業」、「金融業、保険業」  
これらに関連する産業の育成や異業種展開、交流を勧めることによって地域内企業の活性化することが期待

第Ⅲ象限は、管内仕入比率も管外販売比率も低い

「非域内循環型非基盤産業」・・・「卸売業，小売業」「生活関連サービス業，娯楽業」  
これらは地域の住民の需要もまかなう産業であることから、所得水準が上がったとしても他地域へ漏出する割合が高くなってしまふ

第Ⅳ象限は、管内仕入比率が高く管外販売比率が低い

「域内循環型非基盤産業」・・・「建設業」、「教育，学習支援業」  
「医療，福祉」

釧路根室地域の中心的な産業として考えられている一次産業は「域内循環型基盤産業」に属しており、これらの産業の活性化は地域経済全体に広く波及することが考えられる。逆に考えるならば、これらの産業の低迷は広く地域産業にも影響を与えるといえるだろう。

## まとめ（と政策提言）

アンケート調査で見てきたように、釧路根室地域の第一次産業は「域内循環型基盤産業」として考えられ、これらの産業の盛衰は地域経済全体に大きな影響を与えることがわかった。さらに、他の産業においても本来は域内循環が可能であるにもかかわらず、十分に域内循環していない可能性等も示唆された。これらの結果を踏まえた政策提言として以下のことが挙げられる。

- ① 釧路根室地域の経済圏は自治体の枠組みを超えた影響が大きく、根室地域の振興も釧路地域にとって大きな影響を与える可能性があり、地域全体の活性化の方策を考える必要があること。
- ② 地域全体の活性化の方策を考えるにあたって、産業間の連携、地域間の連携を促すような有機的で実効性のある意志決定組織を形成すること。
- ③ このような基礎的なデータの収集、分析を自治体等が主体的な役割を持って整備し、民間の経済活動を促すような政策を行うこと。
- ④ 民間企業においても、地域内の産業構造や成長の可能性を考え、新たな事業展開、異業種交流を積極的に行う実効的な場を策定すること。

が挙げられる。

発行日： 2014年3月25日

発行者： 一般社団法人北海道中小企業家同友会釧路支部  
釧路公立大学 准教授 下山 朗